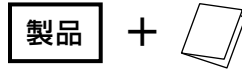


取扱説明書

この度はPIVOT 製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書はよくお読みいただき大切に保管してください。

- 製品を他の人へお譲りする場合は、必ず取扱説明書(本書)をお付けください。



オートクルーズ付きスロコン

3-drive・α

トヨタ純正クルーズスイッチ対応品

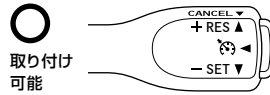
品番

3DA-T



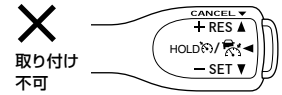
本製品は、右記のトヨタ純正クルーズスイッチ装着車に対応しています。

- ※ レーダークルーズコントロール装着車は対応不可
- ※ ブリクラッシュセーフティシステムブレーキ装着車でも対応可能



取り付け可能

スタンダードタイプ
(トヨタ純正部品番号: 84632-34011)



取り付け不可

レーダークルーズコントロール装着車
例: プリウスZVW50
(トヨタ純正部品番号: 84632-47010)

目次

ご使用のまえに	1 ~ 2
内容物	2
製品の特長	2 ~ 3
特長	2
各部の名称	3
警告・注意	3
手順1 配線接続方法	4 ~ 6
ブレーキスイッチ	4
車速信号・アース・リバーシ信号・専用ハーネス	5
純正クルーズスイッチへの接続方法	6
手順2 製品の固定	7

手順3 初期設定(アクセル開度設定)	8
手順4 車速パルス設定	9
テスト走行	9
基本動作	10
操作方法	11 ~ 14
スロコン操作方法・アクセル開度モニター	11
オートクルーズセット・解除	12
速度を変える・オートクルーズ復帰	13
レベル調整	14
故障かな?と思ったら	15 ~ 16
表示の種類	16



装着後は必ず「初期設定」をする

製品装着後はクルマの特性を設定する「初期設定」(⇒8ページ)を必ず行ってください。「初期設定」を行わないとクルマ側の **チェックランプ** が点灯する場合があります。また、モード表示を換えても **ノーマル状態** のままです。

作業が不安な方

本製品は配線接続など一部専門知識が必要ですので、作業が不安な方は販売店にご相談ください。

専用ハーネスは3-drive用を使用

不具合の原因となりますので、専用ハーネスは必ず3-drive用をご使用ください。

純正 ECU 以外は装着不可

ECU が純正品と異なる場合や、他社製サブコンなどをご使用の場合は装着できません。

製品の取り外し時はノーマルモード

製品を取り外す時は、**nor** (ノーマル) モードにしてください。他のモードで接続すると、**チェックランプ** が点灯する場合があります。

製品改造の禁止

本製品の改造は、クルマ側の不具合や製品故障の原因となり、走行にも影響を及ぼしますので絶対にしないでください。

ご使用の
まえに

製品の
特長

配線
接続
方法

製品の
固定

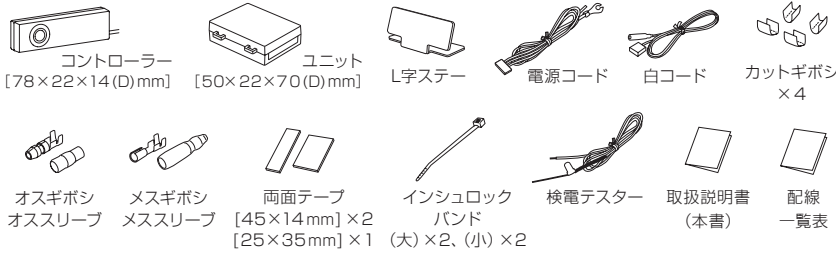
初期
設定

車速
パルス
設定

操作
方法

お困りの
ときは

内容物をご確認ください



装着時に準備する道具と材料



特長

	オートクルーズ設定速度	自動ブレーキ連動解除機能	トヨタ純正クルーズスイッチ対応
3DA-T	40 ~ 140km/h	○	○

3DAのオートクルーズをトヨタ純正クルーズスイッチで操作。



純正スイッチで3DAのオートクルーズを操作

トヨタ純正のクルーズスイッチから3-drive・αのオートクルーズ操作が行えるため、オートクルーズの設定速度も40 ~ 140km/hまで可能となります。

※ 純正のオートクルーズ機能との併用はできません。

純正と同じ操作

純正と同じ **ON/OFF** **セット** **アップ** **ダウン** **復帰** **解除** の6種類の操作。

対応車

トヨタ純正クルーズスイッチ装着車。

※ レーダークルーズコントロール装着車は対応不可

※ プリクラッシュセーフティシステムブレーキ装着車でも対応可能

衝突軽減システム車にも対応

プリクラッシュセーフティシステム装着車にも独自の自動ブレーキ連動解除機能で対応可能。

自動ブレーキ連動解除機能 (Abc)

オートクルーズ走行中に、車輛の自動ブレーキが作動すると、その減速Gの強さから自動ブレーキ作動を判断しオートクルーズを解除する安全機能です。 ※特許出願中



自動ブレーキが作動した場合は、アラーム音と同時に「Abc.」表示となり、オートクルーズが解除されます。 ※通常は作動しません。

スロコン

THROTTLE CONTROLLER



SPORTS & ECO アクセルレスポンスをスポーツ7段階・ECO5段階・ノーマルの3モード12段階に調整可能。

モニター エコ運転などに便利なアクセル開度モニター付き。

燃料消費量比較



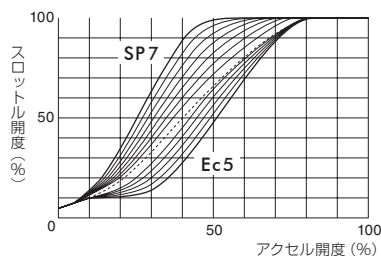
加速時間比較



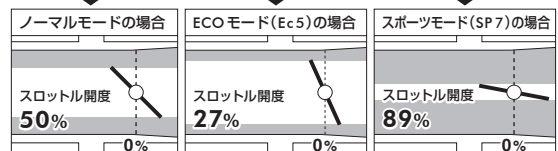
SP7=スポーツモード最大 Ec5=ECOモード最大

車種=ホンダステップワゴン(RG1) / 距離=0 ~ 400m / アクセル開度30%固定

スロットル開度変化



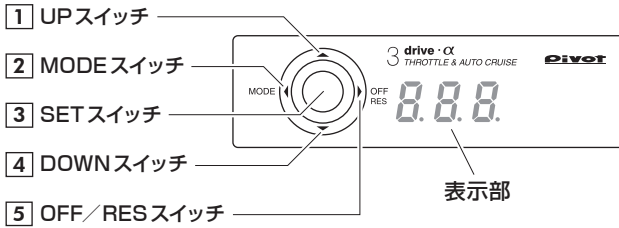
SP7=スポーツモード最大 Ec5=ECOモード最大
 ノーマル 車種=スズキ スイフト(ZC31S)



※バルブマッチングエンジンなどを採用している一部車種では、スロットルバルブではなく吸気バルブで制御を行っている場合があります。

各部の名称

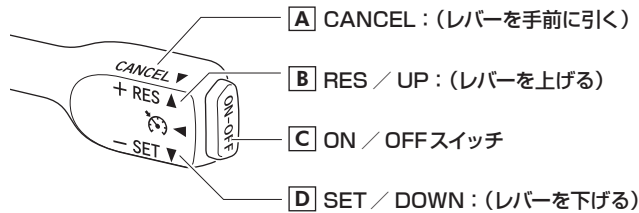
● コントローラー



表示部の消灯について

本製品はクルマのECU電源に連動しています。そのため、車種によってはキースイッチをOFFにしてから表示が消えるまで最長15分かかりますが、正常な動作です。

● 純正クルーズスイッチ



番号	オートクルーズモード		オートクルーズ 走行時
	OFF時	ON時	
1	各モードの変化率切り換え		設定速度を上げる
2	・モード切り換え ・アラーム音 ON/OFF		レベル調整
3	—	オートクルーズ セット	現在の速度で 再セット
4	各モードの変化率切り換え		設定速度を 下げる
5	—	オートクルーズ 復帰(リジューム)	オートクルーズ 解除

番号	オートクルーズモード		オートクルーズ 走行時
	OFF時	ON時	
A	—		オートクルーズ 解除
B	—	オートクルーズ 復帰(リジューム)	設定速度を 上げる
C	オートクルーズ モードON	オートクルーズ モードOFF	オートクルーズ 解除
D	—	オートクルーズ セット	設定速度を 下げる

⚠ 警告

右記内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

● 初期設定はギヤをPまたはNにし、エンジン停止状態で行ってください。エンジン動作中は危険ですので初期設定を行わないでください。

● 換気の悪い場所で作業しないでください。排気ガス中毒や引火等で人体への危険があります。

● コードの被ふくを傷つけないでください。ショート、接触不良等による火災の危険があります。

● 走行中のスイッチ操作や表示の注視は大変危険ですのでおやめください。

● 配線処理や製品固定は運転の支障や接触不良とならない状態にしてください。

⚠ 注意

右記内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性と、製品その他に物質的損害が発生する可能性があります。

● 間違った設定や使用方法による車輛、製品、事故等の問題には弊社は一切の責任を負いませんのでご了承ください。

● 装着できる車種かどうかは、3DA-T対応車表でお確かめください。

● 本製品の装着には専門知識が必要です。不安な方は販売店などにご相談ください。

● 間違った装着・設定をすると、チェックランプが点灯する場合があります。

● エレクトロタップは使用しないでください。

● 配線は付属のカットギボシまたは半田付けで行い、配線部は絶縁テープで確実に絶縁し、芯線等が突き出していないかをお確かめください。

● お手入れは乾いたやわらかい布(めがね拭き)で拭いてください。

● アルコール・ベンジンなどは使わないでください。プラスチックが割れたり塗装面を傷めたりします。

● 加工・分解および改造は行わないでください。

ご使用の
まえに

製品の
特長

配線
接続
方法

製品の
固定

⚠ 初期
設定

車速
バルス
設定

操作
方法

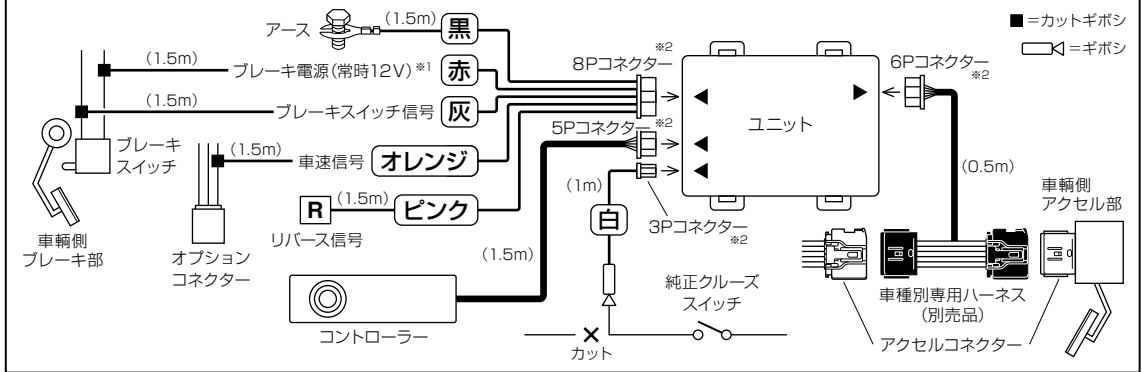
お困りの
ときは

手順 1

配線接続方法

基本配線

取付の際は必ず車種別専用ハーネスをご使用ください。



- ※1 ヒューズ切れ時にオートクルーズを正常に解除させるため、赤コードは必ず指定の場所に配線してください。
- ※2 コネクター差し込み後は、軽く引っ張り、ロックされているか確認してください。

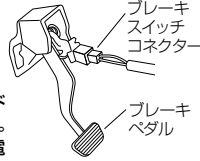


●車輻側コードへの接続時は、通電不良の原因となるため、「エレクトロタップ」を使用せず、付属のカットギボシを使用するか半田付けをし、テープで絶縁処理を行ってください。

- ブレーキスイッチコネクターは車種、グレード、年式などで異なる場合がありますので、「配線一覧表」で形状を確認してください。
- 配線作業は必ずバッテリーの⊖端子を外して行ってください。

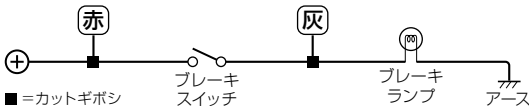
ブレーキスイッチ（ブレーキ電源とブレーキスイッチ信号）

- 赤** ブレーキ電源へ（常時 12V）
- 灰** ブレーキスイッチ信号へ



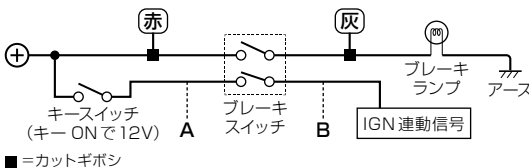
- ブレーキスイッチコネクターからのコードは2本または4本以上の場合があります。「配線一覧表」で接続場所を確認し、検電後に接続してください。
- 接続完了後は必ずブレーキランプの点灯確認を行ってください。

コネクターのコードが2本の場合



コネクターのコードが4本以上の場合

コードが4本以上の場合、下記A・Bの場所には接続しません。（各コード接続場所の検電方法は下記のとおりです。）



検電方法（⇒5ページ【参考1】検電テスター（付属品）の使い方参照）

1. キースイッチはOFFでギヤはP（パーキング）またはN（ニュートラル）
2. 別紙「配線一覧表」で指定された接続場所の端子部を検電確認

製品コード色	ブレーキ踏まない	ブレーキ踏む	
赤	☀ (12V)	☀ (12V)	ブレーキ電源
灰	○ (0V)	☀ (12V)	ブレーキスイッチ信号

☀=検電テスター点灯 ○=消灯

※コードが4本以上の場合、残りのコードには配線しません。

配線方法を選んでください

「直接接続」か「ブレーキハーネス」から配線方法を選んで作業を行ってください。

- ① 指定の接続場所は検電確認を行ってから接続してください。
- ② 未確認の車種は検電確認を行い、接続してください。

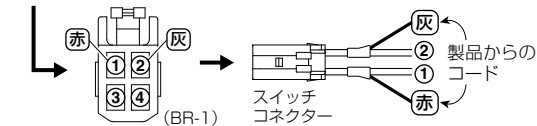
直接接続の場合

「配線一覧表」の「接続番号」のコードへ、赤と灰コードを付属のカットギボシを使用して接続してください。（⇒5ページ【参考2】カットギボシの使い方参照）

表中の「ブレーキハーネス接続コード色」は、クルマ側のコード色ではありません。

例：トヨタアルファード（H20.5～）の場合
TOYOTA

車名	年式	ブレーキハーネス品番	直接接続接続番号		ブレーキハーネス接続色	
			赤	灰	赤	灰
アルファード・ヴェルファイア	H20.5～	BR-1	①	②	青	黄



ブレーキハーネス（別売品）使用の場合

「配線一覧表」の「ブレーキハーネス接続色」へ、赤と灰コードを接続してください。（詳しくはブレーキハーネス取扱書を参照してください。）

例：トヨタアルファード（H20.5～）の場合
TOYOTA

車名	年式	ブレーキハーネス品番	直接接続接続番号		ブレーキハーネス接続色	
			赤	灰	赤	灰
アルファード・ヴェルファイア	H20.5～	BR-1	1	2	青	黄

ご使用の

製品の

方法

製品の

初期

設定

操作

お困り

車速信号

オレンジ

別紙「配線一覧表」で位置を確認し、付属の
カットギボシを使用し接続。
(下記【参考2】カットギボシの使い方参照)

配線
一覧表

※接続は車輻側コードの指示された場所に行ってください。
(CAN-BUSアダプターには接続しないでください。)

アース

黒 アース 端子付

アースが取れる金属部の
ネジに固定する。



※プラスチック部や塗装したネジではアースが取れませんので、確
実にアースの取れる場所で固定してください。

リバース信号

リバース配線を行うと、スポーツモードでの**R**(リバース)時、ノ
ーマル状態に自動的に切り換わります。また、このときはオートク
ルーズセットもできません。

※リバース時のアクセル開度は小さく、急加速はしませんので、
必ずしもこの配線を行う必要はありません。

※ECOモード・ノーマルモード中は動作しません。

ピンク

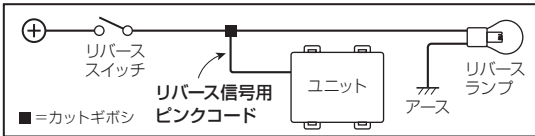
●ギヤ位置

R(リバース)時=12V、その他の位置=0V

(検電方法) キースイッチ ON (エンジンは始動しない) でギヤをリバ
ースへ動かす。

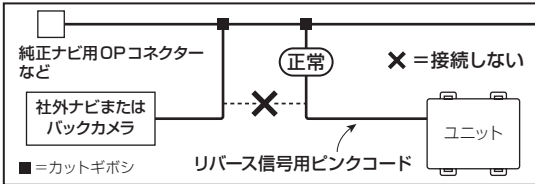
(接続方法) 先端の黒チューブをカットし、下記の要領で接続

■リバース信号へ接続する場合



■純正ナビ用オプションコネクタなどへ接続する場合

社外ナビゲーションのリバースケーブルへは接続しないでください。



(接続の確認) リバース信号が入力されるとスポーツモード
中のみ **b R c** 表示し、ノーマルモードに切り換わります。

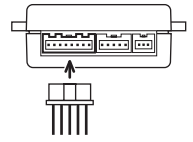
b R c

コネクタの差し込み後は、軽く引っ張り、ロック
されているか確認してください。

電源コード

8P コネクタ

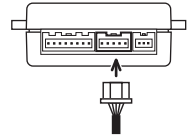
ユニット側面へ接続。



コントローラ

5P コネクタ

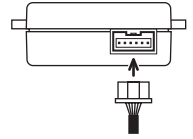
ユニット側面へ接続。



車種別専用ハーネス (別売品)

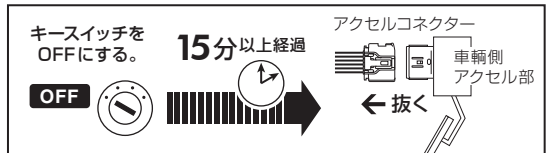
6P コネクタ

ユニット側面へ接続。



⚠ アクセルコネクタの取り外しは
キー OFF 後 15分以上経過してから行ってください。

車種によってはチェックランプ点灯の原因になります。
(チェックランプ点灯の場合⇒12ページ「チェックランプ消灯方法」参照)

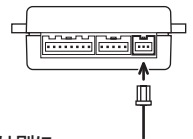


※アクセルコネクタへの装着方法は、各専用ハーネス付属の説明書を
参照してください。

純正クルーズスイッチへの接続

3P コネクタ

ユニット側面へ接続。



オートクルーズの操作がコントローラとは別に
純正クルーズスイッチでも行えます。

⇒配線については6ページ「純正クルーズスイッチへの接続方法」を参照

●一部の車種において、電流量不足から付属検電テスターやLED検電テスターが使用できない場合があります。その場合は
アナログテスター等をご使用ください。

【参考1】検電テスター (付属品) の使い方

1 アースをするネジを緩め、
コードの先端 (芯線) を
入れ締める。

※アース用ネジは金属に固
定されたネジを使用し
てください。プラスチック
部に固定されたネジや
塗装ネジでは絶縁状態
になり、通電しません。

× プラスチック部
× 塗装ネジ

金属部
コードの先端

2 検電する場所にLEDの先端を
接触させる。

アース(ネジ等)
検電テスター
(付属)

LED

点灯=12V
消灯=0V

【参考2】カットギボシの使い方

1 10mm
接続するコードの被ひ
くをむく。

2 10mm
製品コード先端の被ひ
くをむく。

3 両方の芯線を絡める。

4 確実にかしめる。

5 ビニールテープで絶縁
する。

かしめる際は圧着ペンチ
を使用するか、ペンチで
折りたたみ、半田付けな
どを行ってください。

ご使用の
まえに

製品の
特長

配線
接続
方法

製品の
固定

⚠
設定
初期

設定
車速
バルス

操作
方法

お困りの
ときは

純正クルーズスイッチへの接続方法

※ イラストはプリウス (30系) の例です。

ご使用の
まえに

製品の
特長

配線
接続
方法

製品の
固定

初期
設定

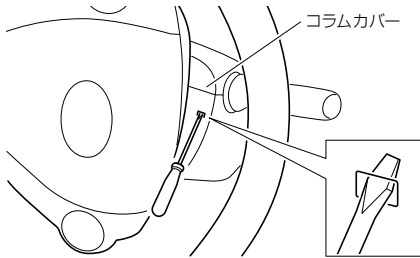
車速
パルス
設定

操作
方法

お困り
の
ときは

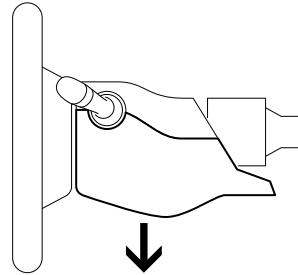
1 コラムカバーのツメを外す

ハンドルを切り、ドライバーなどを使用してコラムカバーの左右にあるツメを外す。(ネジの場合もあり)



2 コラムカバーを取り外す

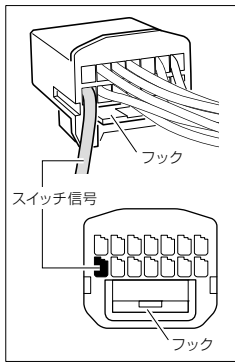
下側のコラムカバーを、下方向にずらしながら取り外す。



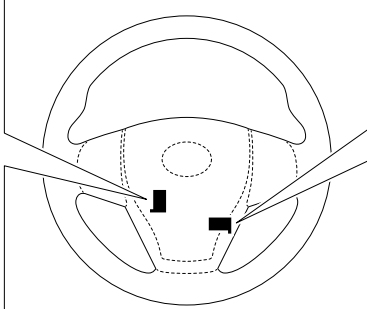
3 信号コネクタを引き抜く

コラムカバー内側にある信号コネクタを探し、作業しやすいようにコネクタを引き抜く。

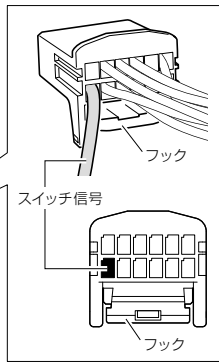
●14Pコネクタの場合



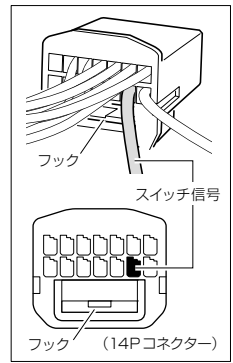
【信号コネクタの位置】



●12Pコネクタの場合



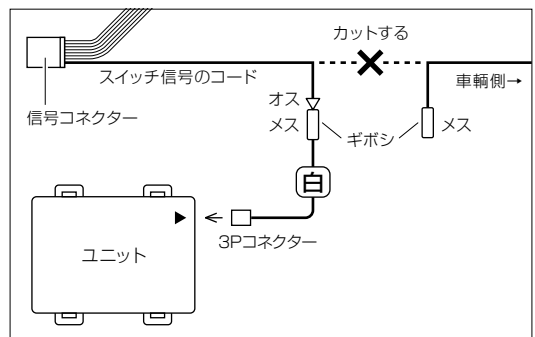
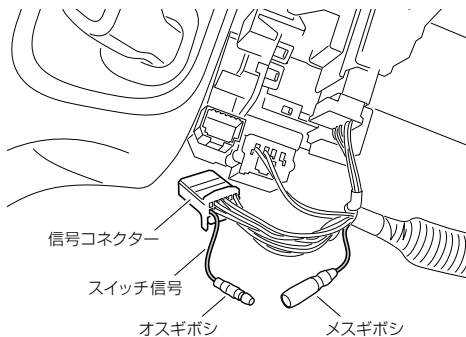
●86・BRZの場合



4 スイッチ信号のコードをカットし、白コードと接続する ※ スイッチ信号の位置は 3 のイラストを参照

① 信号コネクタのコードの中からスイッチ信号のコードを引き出しカットする。

② カットしたコードの信号コネクタ側を付属の白コードとギボシ接続し、車輻側にはメスギボシを取り付ける。



【参考】ギボシの使い方 (図はオスギボシの例です)

<p>1 オススリーブ コード</p> <p>→</p> <p>コードにオススリーブを通す。</p>	<p>2 10mm</p> <p>コードの先端を10mmくらいむく。</p>	<p>3</p> <p>先端を折り返す。</p>	<p>4 オスギボシ</p> <p>オスギボシにコードをセットする。</p>	<p>5 各かしめ位置</p>
<p>6</p> <p>←</p> <p>オススリーブを各かしめ位置に固定する。</p>	<p>※オス・メスギボシは接続後、オススリーブがメススリーブの内側に入るようにしっかりねじ込む。</p>			<p>内側の圧着部は芯線と、外側の圧着部は被ふくの上からそれぞれ圧着ペンチで確実にかしめる。</p>



誤作動防止のため磁石を使ったスマホ用等の固定部品は使用しないでください。

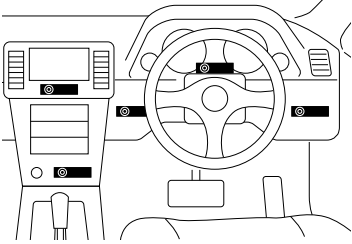


コードは鉄板やネジ等で被ふくが傷つきショートしないよう束ねて処理してください。

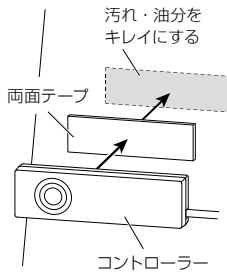
コントローラーの固定

できるだけ表示が見やすく操作しやすい場所に装着してください。

(装着場所例)

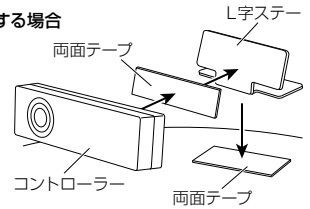


●平面に固定する場合

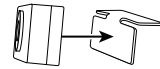


●L字ステーを使用する場合

付属のL字ステーを使うと曲面や斜めのダッシュボード上にも見やすく装着できます。



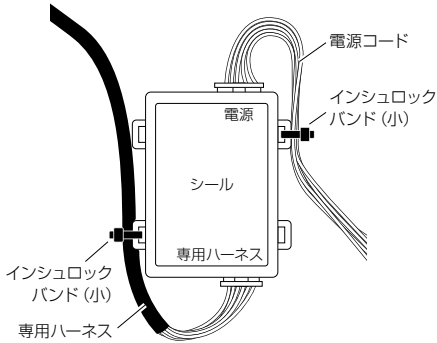
※ステーは逆向きにも使用できますので、好きな向きに取り付けてください。



見やすい角度に調整可能

ユニットのコード処理

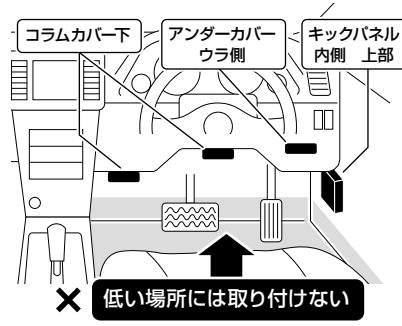
各コードが足などに引っ掛かり、端子が抜けないようコードを固定してください。



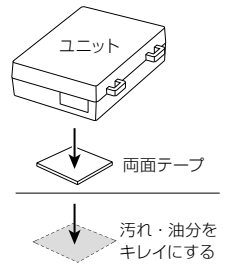
ユニットの固定

下図のような水のかからない場所に固定してください。

(装着場所例)



●平面に固定する場合



ご使用の

製品の

配線接続

製品の

初期

車速

操作

お困りの

手順 3

初期設定 (アクセル開度設定) 必ず行ってください。

はじめて装着したとき



違うクルマに装着したとき



- この作業は、クルマのアクセル特性を製品に設定するためのものです。
- 設定を行わないと、モード表示を換えてもノーマル状態のままです。
- この作業を行わないと、チェックランプが点灯する場合があります。

初期設定作業のまえに

1. 設定はすべての配線 (コネクター装着) 後に行ってください。
2. 設定は **キー ON** ・ **エンジンは始動しない** ・ ギヤ位置 **P** (パーキング) または **N** (ニュートラル) で行ってください。

【設定方法】 ■ = コントローラー表示 () 内は補足説明

1 キースイッチを ON にする (エンジンは始動しない)

● nor と表示 nor されます。 (ノーマルモード)

ON または ENGINE START STOP プレーキ踏まず 2回押す

⚠ 表示が nor 以外の場合は、MODE スイッチを押し、nor にしてください。

2 UP スイッチを 10 秒長押しし、表示を 0 にする

0 まで押す

cAr ⇒ -5- -4- ... -0-

(cAr 点滅表示後、5~0 カウントダウン)

3 表示 0 で UP スイッチはなす

はなす

-0-

4 アクセルペダルを踏まない (アクセル 0% 状態にする)

(例) L15

(電圧表示 例 = 1.5V 各表示数値は車種により異なります。)

5 アクセル 0% 状態で SET スイッチを押す

● SEt と表示 SEt されます。 0% 状態を設定

6 アクセルペダルを奥いっぱいまで踏み込む (アクセル 100% 状態にする)

(例) H45

(電圧表示 例 = 4.5V 各表示数値は車種により異なります。)

7 アクセル 100% 状態で SET スイッチを押す

● SEt と表示 SEt されます。 100% 状態を設定

⚠ Err 表示になる場合

Err 表示後 [4] の表示 (L15 など) に戻る場合は、アクセル開度設定が確実にできていません。もう一度 [4] からやり直してください。

8 表示が 100 になるまでアクセルペダル踏み続ける

SEt ⇒ nor ⇒ 100

9 表示が 100 になったらアクセルペダルをはなす

100 ⇒ nor

10 設定完了

他のクルマに装着する時は必ず再設定を行ってください。設定後にバッテリーや配線を外した場合、初期設定は不要です。

設定の確認 (表示が違う場合は再度 2 から行ってください。)

アクセルを踏まない	アクセルを踏み込む
<p>0% ⇒ nor</p>	<p>100% ⇒ 100 ※</p>

※アクセルの特性上または踏み方によって、H95 (95%) の表示になる場合があります。

ご使用の
製品の
配線接続
製品の
初期設定
必ず行ってください。
車速ハルス
設定
操作方法
お困りの

手順 4

車速パルス設定

製品出荷時はP-4 (パルス4) 状態です。
設定するパルス数は別紙「配線一覧表」を参照してください。

1 キースイッチをONにする
(エンジンは始動しない)

● **nor** と表示
されます。
(ノーマルモード)

表示が **nor** 以外の場合は、MODEスイッチを押し、**nor** にしてください。

● **PL5** と表示
されます。

● パルス数が表示
されます。

ON または
ENGINE START STOP
ブレーキ踏ます
2回押す

3秒
長押し

はなす

4 UP/DOWNスイッチを押し、設定する
パルス数を選択する

P-2 **P-4** **P-8** **P16**
(出荷時設定)

5 3秒間操作なし
で点滅表示
POO

6 5秒間操作なしで点滅表示から
ノーマルモードに戻る
nor **設定完了**

車速パルス設定は正しく行ってください。正しく設定されていないと、オートクルーズ設定可能速度の約40 ~ 140 km/h以内でも、オートクルーズをセットすることができません。

テスト走行

各配線と「初期設定」「車速パルス設定」が完了したら、簡単な確認を行ってください。

⚠ テスト走行は、歩行者や交通量の少ない、安全な広い場所で行ってください。
本書をよくお読みいただき、操作方法をご理解の上で行ってください。

1 エンジン
始動

2 純正クルーズスイッチの
ON / OFFスイッチを押す

押す

ドット点灯

3 走行開始 (45km/h以上)

4 オートクルーズをセットする

下げる

5 設定速度で
自動走行

Acc.

○ **Acc.** 表示になる
⇒ 各配線・設定は問題ありません。

× **Acc.** 表示にならない
⇒ 下の各項目を確認してください。

↓

● **- b -** が表示される場合
灰コードの接続不良 ⇒ 4~5ページ
ピンクコードの配線間違い ⇒ 5ページ

● **- - -** が表示される場合
車速パルス設定不良 ⇒ 9ページ
オレンジコードの配線間違い ⇒ 5ページ

● スイッチを押しても表示が切り換わらない場合
初期設定不良 ⇒ 8ページ

オートクルーズ解除方法

ブレーキペダルを踏む

または

レバーを手前に引く

または

OFFスイッチを押す

ご使用の

製品の

配線接続

製品の

初期

車速パルス

操作

お困りの

基本動作

ご使用の
まえに

製品の
特長

配線
接続
方法

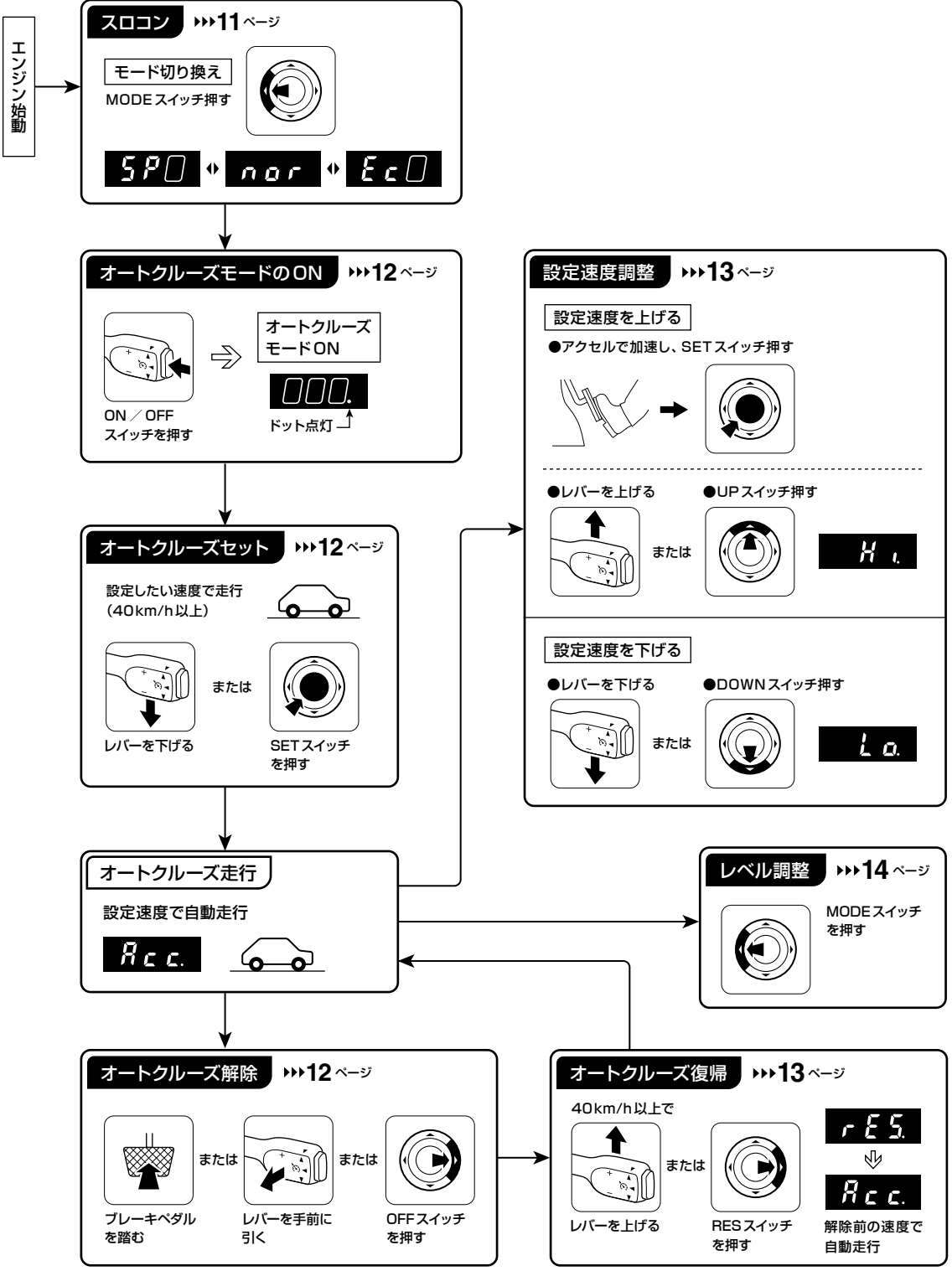
製品の
固定

初期
設定

車速
パルス
設定

操作
方法

お困り
の
ときは





スロコン操作方法

レスポンスの切り換え

各モードのレスポンス設定をします。

モード切り換え

1 エンジン始動  START

2 MODEスイッチ押すごとにモード切り換わり  押す

スポーツモード **SP0** レスポンス 高い

ノーマルモード **nor** 純正状態

ECOモード **Eco** レスポンス 低い

※安全上、モード切換は必ず **nor** (ノーマル) を経由します。

リレー音について
nor 切り換え時には安全上リレーが動作し、カチッという音がします。

各モード変化率切り換え

! 変化率調整は、加速の状態を確認しながら最小値から徐々に上げてください。

● **スポーツモード変化率切り換え**
SP0 表示中、UP/DOWNスイッチ押すごとに切り換わり

変化率最大 (SP7側) 変化率小 (SP1側)

変化率最小 **SP1** (+10%) **SP2** (+20%) **SP3** (+30%) ... **SP6** (+60%) **SP7** (+70%) 変化率最大

● **ECOモード変化率切り換え**
Eco 表示中、UP/DOWNスイッチ押すごとに切り換わり

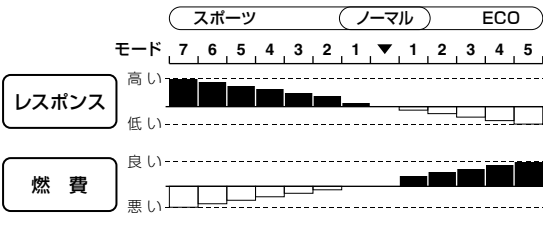
変化率小 (Ec1側) 変化率大 (Ec5側)

変化率最大 **Ec5** (-50%) **Ec4** (-40%) **Ec3** (-30%) **Ec2** (-20%) **Ec1** (-10%) 変化率最小

! 各モード記憶

各設定はキースイッチOFFでも記憶されています。ただし、操作後2秒以内にキースイッチをOFFにすると記憶されません。

【参考1】各変化率でのレスポンスと燃費の変化例

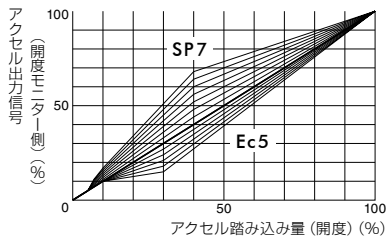


※ECOモードでは、純正状態よりもレスポンスを下げた低燃費走行が可能です。ただし、意図的に急加速運転をすると燃費は悪化します。
 ※レスポンス変化はパワーの大きいクルマほど大きくなります。

【参考2】基本制御特性

全域で段付のないスムーズな制御を行います。

アクセル踏み込み量 (開度) 対アクセル出力信号

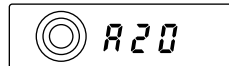


アクセル開度モニター

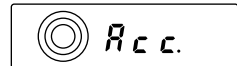
アクセルの踏み込み量を表示します。(出力信号側) [15 ~ 100%まで、5%単位]

アクセル開度モニターはアクセルを踏まない状態を0とし、奥まで踏んだ状態を100としてECU側に出力する開度率です。

※アクセルセンサーの特性上またはアクセルの踏み方によっては95%までの表示になる場合があります。



アクセル開度 (出力側) 20%時



オートクルーズ動作中 (開度表示なし)

用途1 エコ運転時のアクセル操作チェック

発進から加速時に低燃費となるアクセル開度は約15~25%以内です。エコ運転時はECOモードと併用すると効果的です。



用途2 運転中のアクセル操作チェック

ECOモード以外でもアクセル開度をチェックできます。

用途3 制御状態のチェック

キースイッチON (エンジン停止) 状態のとき、ノーマルモードでアクセルを40% (R40) まで踏み込み、モードをSP1にすると表示は出力70% (R65) となり、Ec5では25% (R25) となります。

[⇒上記「基本制御特性グラフ」参照]
 ※表示は多少異なる場合があります。

40% 時の例

アクセル踏み込む ← **R40** (ノーマルモード時)

SP1に切り換え → **R65**

Ec5に切り換え → **R25**

ご使用の
まえに

製品の
特長

配線
接続
方法

製品の
固定

初期
設定

車速
パルス
設定

操作
方法

お困りの
ときは

オートクルーズ操作方法

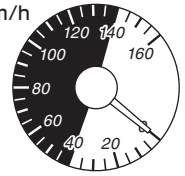
オートクルーズをセットすると、アクセルペダルを踏まなくても設定した速度で自動走行できます。

- オートクルーズは運転を補助する装置にすぎませんので、「法定速度」を守った「安全運転」を行ってください。
- オートクルーズは次の状況では危険ですので使用しないでください。
 - ① 滑りやすい路面（雪、凍結） ② 渋滞時 ③ 急カーブや急な坂
- 急な上り坂ではエンジン性能以上の加速はできません。また、急な下り坂ではエンジンブレーキ以上の減速はできませんので、ブレーキを併用してください。
- エンジン回転が上がると、オートクルーズ走行中にギヤをN（ニュートラル）などDレンジ以外にしないでください。

【設定可能速度】

約40～140km/h

純正メーターでは、表示誤差から45～145km/hくらいでの設定になります。



セットする

1	エンジン始動 	2	モード表示 	3	走行開始 (40km/h以上)
4	オートクルーズ使用可能状態にする	純正クルーズスイッチのON / OFFスイッチを押す			オートクルーズ使用可能
5	オートクルーズのセット	純正クルーズスイッチ		コントローラー	
	設定したい速度でレバーを下げる			設定したい速度でSETスイッチ押す	
	<p>⚠ セット時には急激なアクセル操作はしないでください。</p> <p>● リレー音（カチッ）について n o r. でのセット時はリレーの動作音がします。気になる場合は、S P i. または E c i. に切り換えてご使用ください。</p>		<p>※ できるだけ速度変化の少ない状態で行ってください。 ※ 急な上り坂では、セット時、多少減速してから安定走行になります。</p>		
6	設定速度で自動走行	<p>Acc.</p> <p>加速時以外はアクセルを踏まないでください。</p>		<p>【一時的な加速方法】</p> <p>① アクセルペダルを踏むと加速 ② はなすと 5 の速度に戻りオートクルーズ</p>	
		<p>加速</p> <p></p> <p>アクセルペダル踏む</p>		<p>オートクルーズ</p> <p></p> <p>はなす</p>	

解除する

次のいずれかの方法でオートクルーズが解除され、スロコンに戻ります。

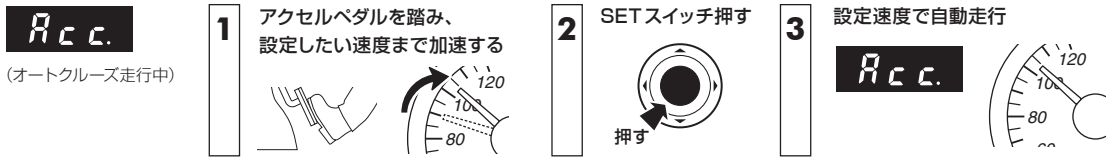
ブレーキペダルを踏む 	レバーを手前に引く 	OFFスイッチを押す 	自動解除
			<ul style="list-style-type: none"> ・速度が30km/h以下になった場合 ・自動ブレーキが作動した場合

ご使用の
製品の
配線接続
製品の
初期
設定
車速ハルス
操作
方法
お困り
の

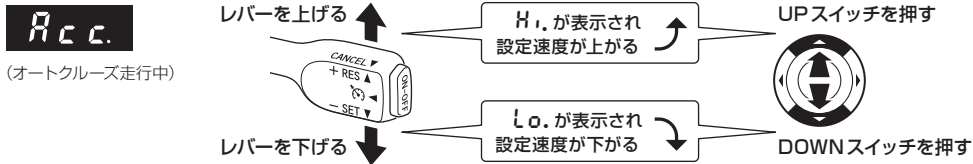
設定速度を変える

次のいずれかの方法でオートクルーズ走行中に速度調整ができます。

アクセルで加速し設定速度を上げる場合



スイッチ操作で設定速度を変える場合



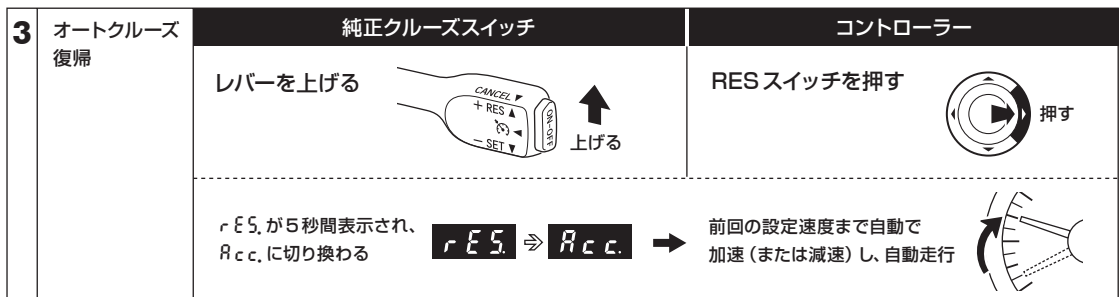
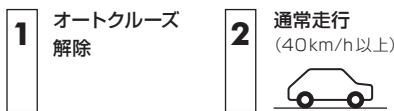
	純正クルーズスイッチ	コントローラー
■ 微調整 (2km/hずつ変える場合) 押すごとにビッと音が鳴り、約2km/hずつ加速(または減速)します。回数に応じた速度まで加速(または減速)し、自動走行します。	レバーを上(または下)に軽く操作して手を離す 	UP / DOWNスイッチを押す
■ 調整 (連続して変える場合) ビッと1回鳴った後ビッビッビッという連続音に変わります。押している間加速(または減速)し続け、はなしたときの速度で自動走行します。	設定したい速度までレバーを保持する 	設定したい速度まで押し続ける

※ アラーム音をOFFにしていると、音は鳴りません。

※ エンジンブレーキ以上の減速はできませんので、急な下り坂などでは減速しない場合があります。

復帰させる

オートクルーズ解除後、スイッチを押すだけで解除前の設定速度に復帰します。



※ 安全のため、オートクルーズ解除後に車速がいったん10km/h(メーター読みでは15km/h)以下になると、解除前の設定速度はリセットされ、オートクルーズ復帰できません。

ご使用の

製品の

配線接続

製品の

初期

設定

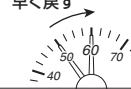

操作

お困りの

レベル調整

上り坂などで一時的に下がった速度を設定速度に戻す時間は、エンジン性能（出力）の違いによって変わります。レベル調整を行うことで、速い加速（設定速度に早く戻る）と遅い加速（乗り心地が良い）のバランスをお好みで調整できます。

レベル調整は走行条件やクルマでも異なる場合がありますので、下記はあくまで参考例とし、お好みで調整してください。（製品出荷時はL-3の設定です。）

<p>L-5側 (速い加速) 小排気量車向け</p>	<p>エンジン出力が小さいクルマで、設定速度に戻る時間が早くしたい場合はL-5側に上げてください。</p>  <p>早く戻す</p>	<p>L-5 ↑ L-4 ↑ L-3 (出荷時設定) ↓ L-2 ↓ L-1</p> <p>小排気量車向け</p> <p>早い (速度差が少ない) ↑ 設定速度に戻る時間 ↓ 遅い (乗り心地が良い) 大排気量車向け</p>
<p>L-1側 (遅い加速) 大排気量車向け</p>	<p>エンジン出力が大きいクルマで、設定速度に戻る時間が早く、急な加速で乗り心地が悪い場合はL-1側に下げてください。</p>  <p>ゆっくり戻す</p>	

【設定の参考例】

L-5	アルト
L-4	マーチ・フィット・デミオ・ワゴンR
L-3	ヴォクシー・プリウス・キャラバン・セレナ・インサイト・ステップワゴン・スイフト
L-2	ヴェルファイア・クラウン・ハイエース・エルグランド・レガシィ・MPV・RX-8

⚠ 走行中のスイッチ操作や表示の注視は事故の原因となりますので、安全に十分配慮して行ってください。


【設定方法】



ご使用の製品の特長
製品の特長
配線接続
製品の設定
初期設定
車速パルス設定
操作方法
お困りのときは

故障かな?と思ったら

基本動作と車輛関係

症状	原因	対策
キースイッチ ON で表示が点灯しない、または使用中に表示が消灯する。	車輛のブレーキヒューズ切れ。 (赤) (黒) コードの配線間違い、または接続不良。 (5Pコネクター) (8Pコネクター) (6Pコネクター) の接続不良。 (専用ハーネス) の接続不良。 (専用ハーネス) の品番間違い。	再度ご確認ください。
キースイッチ ON でドットのみ表示になる。	(黒) コードの配線間違い、または接続不良。	再度ご確認ください。
チェックランプが点灯した。 	「キー ON」または「キー OFF 後 15 分以内」に アクセルコネクター または (専用ハーネス) を抜いた。 「初期設定」が行われていない。 ノーマルモード以外で取り外した製品を別のクルマに接続した。	抜いたコネクターを元に戻し、チェックランプを消灯させてください。(⇒ 本書 16 ページ) 「初期設定」(⇒ 本書 8 ページ) を行い、チェックランプを消灯させてください。(⇒ 本書 16 ページ) ノーマルモードに戻してから「初期設定」(⇒ 本書 7 ページ) を行い、チェックランプを消灯させてください。(⇒ 本書 16 ページ)
初期設定または車速パルス設定に入れない。	(オレンジ) コードの配線間違い、または接続不良。 走行中のため。	再度ご確認ください。 停車状態で行ってください。
初期設定中に Err 表示になる。	(Err) 「初期設定」が正確に行われていない。	「初期設定」を行ってください。(⇒ 本書 8 ページ)
キースイッチを OFF にしても表示が点灯している。	本製品はクルマの ECU 電源に連動しています。そのため、車種によってはキースイッチを OFF にしてから表示が消えるまで最長 15 分かかりますが、正常な動作です。	

スロットルコントローラー関係

症状	原因	対策
モードを切り換えても変化を体感できない。	「初期設定」が正確に行われていない。	「初期設定」を行ってください。(⇒ 本書 8 ページ)
モードまたは変化率の設定が記憶されない。	モード切り換えまたは変化率設定後、すぐにキースイッチを OFF にしている。	モード切り換えまたは変化率設定後、2 秒以上経ってからキースイッチを OFF にしてください。
スポーツモード中、リバース時に bRc 表示にならない。 × bRc	(ピンク) コードの配線間違い、または接続不良。 社外ナビのリバースケーブルに接続している。 リバースランプを LED に交換している。	再度ご確認ください。 リバース配線を行ってください。(⇒ 本書 5 ページ) ● 純正のリバースランプに戻してください。 ● リバース配線を行わないでください。

オートクルーズ関係

症状	原因	対策
-b- 表示になり、オートクルーズが動作しない。	(灰) (ピンク) コードの配線間違い、または接続不良。 ブレーキランプを LED に交換している。	再度ご確認ください。 純正のブレーキランプに戻してください。
--- 表示になり、オートクルーズが動作しない。	(オレンジ) コードの配線間違い、または接続不良。 設定可能速度外。 「車速パルス設定」が正確に行われていない。	再度ご確認ください。 「車速パルス設定」を行ってください。(⇒ 本書 9 ページ)
SET スイッチを押しても表示が切り換わらずオートクルーズが動作しない。	「初期設定」が正確に行われていない。 オートクルーズモードが ON になっていない。	「初期設定」を行ってください。(⇒ 本書 8 ページ) オートクルーズモードを ON にしてください。(⇒ 本書 12 ページ)
純正クルーズスイッチを使用して、オートクルーズ操作ができない。	(白) コードの配線間違い、または接続不良。 (3Pコネクター) の接続不良。	再度ご確認ください。
オートクルーズが自動で解除され、スロコンに切り換わる。 無音 ビーという音がする	(灰) コードの配線間違い、または接続不良。 (オレンジ) (ピンク) コードの配線間違い、または接続不良。 「初期設定」が正確に行われていない。 速度が 30km/h 以下になった場合は自動で解除されます。	再度ご確認ください。 「初期設定」を行ってください。(⇒ 本書 8 ページ) ※オートクルーズを再度お使いになるには、キースイッチを OFF にし、表示が消灯したことを確認してからエンジンをかけ直してください。

ご使用の

製品の

配線接続

製品の

初期設定

車速パルス

操作方法

お困りの

ご使用の
まえに

製品の
特長

配線
接続
方法

製品の
固定

初期
設定

車速
パルス
設定

操作
方法

お困り
の
ときは

オートクルーズ関係

症状	原因	対策
急な上り坂でオートクルーズの設定速度との差が大きい。	オートクルーズレベル調整がレベル小(L-1側)になっている。	「オートクルーズレベル調整」を行ってください。 (⇒本書14ページ)
オートクルーズの設定速度に戻る加速が強く感じる。	オートクルーズレベル調整がレベル大(L-5側)になっている。	
オートクルーズ中にアラーム音と同時に Rbc. 表示になり、オートクルーズが解除される。	自動ブレーキ連動解除機能が作動した。	正常動作です。

表示の種類

使用中の表示

表示	説明
SP1~SP7	スポーツモード(数字が大きい=レスポンスが高い)
Ec1~Ec5	ECOモード(数字が大きい=レスポンスが低い)
nor	ノーマル(純正状態)
R00	アクセル開度表示
000.	オートクルーズ使用可能
Rcc.	オートクルーズ動作中
H.L./L.o.	オートクルーズ設定速度を上げる/下げる
rES.	オートクルーズ復帰開始(リジューム)
bRc	リバース時(スポーツモード中のみ)
- - -	オートクルーズ中止(車速)
- b -	オートクルーズ中止(ブレーキ)
Rbc.	自動ブレーキ作動によるオートクルーズ解除時

設定中の表示

表示	説明
cRr	初期設定モード
L00	アクセルを踏まない位置
H00	アクセルを奥まで踏んだ位置
SEt	入力完了
PLS	車速パルス設定モード
P00	車速パルス数
L-0.	オートクルーズレベル調整
on/off	アラーム音ON / OFF

自動ブレーキ連動解除機能は、オートクルーズ走行中に衝突軽減システムの自動ブレーキが作動した場合のみ、オートクルーズを解除しアラーム音と同時に「Rbc.」表示となります。

ヒント チェックランプ消灯方法

間違った操作などでチェックランプを点灯させてしまった場合は、下記の方法で消灯させてください。

- ① 正常状態でエンジン始動と停止を数回繰り返してください。
- ② ①を行っても消灯しない場合は、バッテリーマイナス端子を10分程度外してください。
- ③ ①②を行っても消灯しない場合は、カーディーラーなどで専用機器を使用して消灯作業を行ってください。



ヒント アラーム音OFF方法

オートクルーズセット時のアラーム音を消したい場合は、MODEスイッチを長押ししてください。

(エンジン始動時) MODEスイッチ長押し  ⇒ **OFF**

- ※ オートクルーズ走行中に設定の変更はできません。
- ※ 元に戻りたいときはもう一度同じ操作を行ってください。
- ※ アラーム音設定をOFFにしているも、初期設定または車速パルス設定を行うとアラーム音設定はONになります。
- ※ 自動ブレーキ連動解除機能が作動した場合は、アラーム音設定がOFFでもアラームが鳴ります。

※弊社製品には工業所有権出願中、または取得済みが含まれています。
 ※意匠、制御特性、回路、回路配置などの類似品には、近年不正競争防止法等の法的処置が厳しく適用される事例があります。
 ※PIVOTマーク無断使用や説明書の無断転載は固くお断りします。